

2024年10月11日

 Bishu Material Exhibition

【最終報告】

会期 2 日間で前年並みの 867 名が来場、
1 社平均 483 点のサンプルリクエスト

シーズン	2025/26 秋冬
会期	2024年9月25日(水) 9:30-18:00、26日(木) 9:30-17:00
会場	WITH HARAJUKU HALL

公益財団法人尾州ファッションデザインセンター（以下、「FDC」）は、9月25日・26日の2日間、「2025/26 Autumn & Winter Bishu Material Exhibition（以下、「BME」）」を東京都渋谷区神宮前の WITH HARAJUKU HALL で開催した。28回目となる今回の BME には尾州産地のテキスタイルメーカー12社が参加し、約1,070点の新作と FDC が提携しているパリのネリーロディ社のトレンド情報を基に製作した開発素材152点を展示して商談を進めた。

今回も引き続き会場をファッションの街である原宿で行った。

その結果、展示会の来場者は、2023年に開催した秋冬展と比較して、前年並みの867名（学生入場者を除く）となった。また、出展企業12社の合計サンプルリクエスト点数は延べ5,801点で、社数では延べ830社となった。

暖冬の影響により秋冬物を得意とする尾州産地にとって悪影響が出るのではないかと心配されたが、前年並みの来場者が訪れ、活発な商談が行われた。出展者からは、「初日は雨で来場者が少なかったが、2日目には多くの方が来場し、挽回できたのはよかった。」との声が聞かれた。

生地傾向としては、薄地・軽さのある素材・凹凸のある素材が人気だった。色使いではナチュラルカラーや黒・白といったオーソドックスな色の人気が高かった。来場者からは「統一感があって見やすい」や「前回のインデックスより良く感じた」と好評だった。

今回は尾州産地の整理技術PRコーナーとして、優れた技術を持ち、尾州産地を支えている染色整理企業をパネル展示及びハンガー展示により紹介した。来場者は特色のある加工がされたハンガーを手に取り、尾州産地の整理技術を肌で感じていた。

昨年に引き続き(株)糸編 代表取締役 宮浦晋哉氏を講師に招き、今後活躍が期待される若手デザイナーを対象に尾州産地の講習会を開催した。講習会受講後、実際に展示会場で生地を自分の手で確認していた。

来場者の業種別内訳は次ページのとおり。

【以下、展示会各種数値】

＜第28回 2025/26 秋冬 BME の来場者の内訳＞

	アパレル	小売	商社・問屋	制服・ユニフォーム インテリア	その他	計
1日目	145名	19名	112名	2名	87名	365名
2日目	203名	28名	204名	1名	66名	502名
計	348名 (40.1%)	47名 (5.4%)	316名 (36.5%)	3名 (0.3%)	153名 (17.7%)	867名 (100.0%)

※学生入場者を除く

＜第28回 BME のサンプルリクエスト状況＞

	アパレル		小売		商社・問屋		制服・ユニフォーム インテリア		その他		計	
	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数
1日目	167	1,244	23	255	148	937	0	0	4	20	342	2,456
2日目	231	1,630	88	601	169	1,114	0	0	0	0	488	3,345
計	398	2,874	111	856	317	2,051	0	0	4	20	830	5,801

【会場の様子】

▲展示会 会場内



▲尾州産地の染色整理PRコーナー



▲セミナーの様子



＜本資料のお問い合わせ＞

(公財) 尾州ファッションデザインセンター
事務局長 本田
担当 永山
電話：0586-46-1361
内線番号：7945